

平成 30 年度第 2 回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：平成 31 年 2 月 4 日（月）

13:30～15:05

場 所：多治見市役所 駅北庁舎 4 階会議室

出席： 澁谷和臣会長、浅野みな子副会長、森内佐和子委員、竹内寛委員、橋本誠委員、林計男委員、林正勝委員、若尾卓男委員、松村三千代委員、西迫静隆委員、渡辺光城委員、田中信次委員、水野磨意子委員（代理 唐木頼子）、羽根田真理子委員、宮川知佳委員（代理 鷺見紀子）、松岡由佳子委員、森節子委員、棚瀬民依委員、今井光春委員（順不同）

欠席： 各務晴夫委員

事務局：杉村課長、加藤リーダー

会長 ただいまより、平成 30 年度第 2 回生活支援体制整備推進会議を開会させていただきます。

本日、都合により笠原地域社協 各務委員が欠席。太平包括支援センター 水野委員、南姫地域包括支援センター 宮川委員の代理が 2 名となっております。開会にあたりまして、高齢福祉課の杉村課長から一言お願いします。

高齢福祉課長 今年度は、多治見市高齢者福祉計画 2018 の初年度になっております。高齢者福祉計画では、①地域包括ケアシステムの強化 ②介護保険サービスの充実と適正化 ③在宅医療・介護連携の推進 ④認知症施策の推進 ⑤生きがいのある生活の支援 の 5 つが基本方針となっております。

その中で、本日の生活支援体制整備推進会議は、①地域包括ケアシステムの強化になります。地域包括支援センターに関すること、生活支援体制の充実のための人材育成、第 1 層協議体、第 2 層協議体の設置が挙げられております。今年度から生活支援コーディネーターを配置いたしまして、取組を進めてまいりました。

生活支援コーディネーターが、地域資源や地域活動を把握し、各地区を回り資料を集めました。包括支援センター、地域の方に協力をいただき、情報を地図に落とし込みました。順次精度を高め、どの地区でどんな活動しているか、どの活動が少ないかが見えてくると課内でも話をしているところがございます。

今日の会議では、これまでの取組を報告いただき、皆様方からのご意見をいただき、今後各地域で、いろんな取り組みを展開したり、拡大したりと思っておりますので、皆さん方からのご意見、ご協力をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

会長

それでは次第に沿って進行させていただきます。
議題1) 生活支援コーディネーターの活動報告です。
森内生活支援コーディネーターからよろしくお願いいたします。

委員

第1回生活支援体制整備推進会議で提案しました生活支援コーディネーターの4つの取り組みについて報告いたします。

1) 生活支援体制整備推進会議の開催

今年度2度の会議を開催しました。普段集まることができない関係機関の方に、今後の取組方等意見をいただきました。

2) 地域の社会資源の把握・見える化

地域の情報収集するために、地域福祉協議会、地域包括支援センター、シルバー人材センター、愛・愛サロン(37区)、TGKいきいきサロン、AAKプロジェクト、南姫包括の人財育成事業など市内だけでなく市外にも伺いました。

現段階で情報を収集したものを、一覧にまとめました。

- ・ひまわりサロン(高齢者サロン)登録団体
- ・生活支援・見守りサービス情報

まだ、全ての情報ではないので、今後も情報収集いたします。
この一覧をもとに地図に落とし込みました。この地域には沢山ありますが、この周辺には無いということが、見えるようにいたしました。

3) 生活支援ニーズの把握・共有

4) 担い手の育成・発掘

- ・ふれあいねもとの「住民たすけあいサービス」の支援

関係機関の会議、研修会等に参加しながら、生活支援サービスに取り組む団体に支援や研修を行いました。

- ・岐阜市社会福祉協議会 芥見東支部視察

先進的な地域の取り組みをしている団体に、多治見市の地域福祉協議会13名と視察に伺いました。

コミュニティバスの運営、空き家を利用した事務所の開設、生活支援「小さな手助け」について話を伺いました。

今年度の活動は、市内の情報収集を主に行い、地域福祉協議会の会議の参加、地域包括支援センターや支援サービス事業所での情報収集、ひまわりサロン、認知症カフェの訪問により、実態を把握し見える化の一つとしての資源マップを作成いたしました。生活支援事業を進めていくうえで、サービス取組団体に先進事例の視察や活動団体の紹介をしました。関係機関をつなぐコーディネーターの役割を果たしました。

今後は、さらに社会資源の把握を進め、住民主体の生活支援サービスの支援、社会資源の空白地域に生活支援等の拠点を進めるなど、関係機関と連携し、担い手の育成、活躍の場を整備することも必要と思います。来年度は、社会資源の把握を進めるとともに、市民対象の講座を企画し、多治見市全体に広がる取り組みをいたします。

以上が活動報告になります。

会長 生活支援体制整備推進会議では、いろんな情報を収集、整備、共有することが重要であります。全市的な把握として、地図に表したことがどこの地域でサロン等の多い少ないが明確になり、表にすることにより、相談を受けた時にお答えできると思います。

委員 宅配、移送、サロンなど、私たち委員が見るだけでなく、市のホームページなど、インターネットとかで見える化をして、情報をオープンにしてはどうか。

委員 内容を精査してから、インターネットや紙媒体などにできればと思います。

委員 人の輪も社会資源となるかな

会長 地区によってはそのようなものも把握できれば良いと思います。
根本があらたに生活支援サービスを構築したという事で、現在の状況はどうですか。

委員 ふれあいねもとは、設立して 10 年ほどたちますが、10 年も経過すると状況も変わりましたので、ふれあいねもとに期待しているもの、支援サービスの認知などを全戸にアンケートを取りました。回収率は 60 % ほどでした。

アンケートの結果から、ふれあいねもとでもできる支援を 4 項目決め、「日常品の買い物」、「草取り・剪定」、「電球の取り換え」、「ゴミ出し」と決めました。昨年 11 月から生活支援サービスを開始しました。おたがいさま東部さんの協力をえて、詳細を決めさせていただきました。現在 8 件ほど支援させていただきました。スタッフに勉強会で業務の内容を確認したいと思っています。

委員 私たちの活動風景を写真で見ていただきまして、皆さん関心深く聞いて見えました。私たちも、振り返ることができ、無理をしているところもあるのでは感じました。

何でもできる方がいましたが、その方が体調を崩された際に、その方の代わりの方がいなくて、他の方をお願いしても、利用者は満足されなかった。この点を考えなければならないと思いました。剪定を引き受けるとみなさん期待が膨らみますが、庭師が行うこととされているようで、表記の仕方などを見直すきっかけとなった。わたしたちも勉強させていただいたと思っております。

会長

コーディネーターを利用して、県の補助金も活用できるとか、他団体ともつなぐこともできると思います。
岐阜の芥見支部に訪問した際の反応はどうでしたか。

委員

芥見支部では女性の目線でやってみえて、男性の目線とは違っていた。やさしさがあった。難しいことはやらせない。長続きすると思います。代表者がいる間は、絶対に有償にはしません。と言って見えて印象に残りました。お金をもらうことは商売ですから。実費は別として。
拠点は空き家を利用しており、社協から家賃補助あるということでした。

委員

有償と無償をどこで線引きするかが課題で、自分たちがどういう方法でするかによって、有償か無償になるかだと思います。芥見支部は無償という事で、お手伝いという内容でした。我々も今後支援をしなければいけない状況で、考えないといけない点でした。
拠点が団地の中にあり、ざわざわすることにより、苦情等は無いのかなと思いました。今後、拠点の立ち上げとなると、その点も考えなければならないと感じた。
支援事業で勘違いがあり、認知症の方が、庭を片付けたいということで、支援だと無償とされていてしまいました。しっかりと明記しないといけないかんと感じた。
バスについては恵まれている地域と感じた。1日170人が利用している。

委員

芥見支部ではボランティアが75名いるということで、わたしどももボランティアを集めたくて、元区長等に案内して、先進地の啓蒙をしながら、ボランティアにつなげていきたいと思っている。

委員

コミュニティバスは地域性があり、団地が40～50年前の新興団地の場所でした。全体が高齢化しているが、地の利があり、町全体がある程度完結できる利便性があり、そこの中を回すバスでありました。市のコミュニティバスは広い範囲ですけれども、岐阜市から補助金を受け運行していました。一般の方も乗車していました。私たちの地域も、地域の中で回れる

ような路線も考えなければと思った。

委員

ちいさなお手伝いという事で、1時間以内の支援でないと無料では難しいと思った。有償、無償の境目が難しい。私どもは本格的な剪定を行っております。メンバーに庭師を3名入れ、指導を受けながら有償で実施しています。年間120件程度行っています。1,000円で行ってもらったら、ボランティアに800円、残りの200円で道具代、燃料費に充てています。自分が動くことによって、他の方が喜ぶ。そのことがうれしい。人のためのボランティアはありえないと思っている。自分自身が好きでやってこそボランティアである。そうでないと長続きはしない。義務や強制ではボランティアはできない。ふれあいわきのしまでは無償は考えていません。また、自分たちでできていなかったことに気づかされ、包丁砥ぎを取り入れようと思っています。

移送支援は年間4,000人が利用していますが、芥見の利用人数の多さには、この地域で何かが必要かなと考えさせられ、課題となっております。

会長

以前は出来ていたことが出来なくなった。介護保険を利用しなければならなくなった。介護保険を利用していても、地域住民でやれる部分もあるかなと思います。

ヘルパーを利用している方で、ヘルパーの利用と、地域住民がやっているサービスの利用と両方を利用されているような方はいますか。

委員

ヘルパーに確認したところ、実際には報告を受けていないので、正確には把握できていませんが、両方を利用されている方もいると思います。介護保険の部分と介護保険でできない部分があって、必要性はあると思います。社協も制度外サービスとして、介護保険で実施できない部分を実施していますが、数名の方が利用されています。これからは混合介護が出てくると思います。

会長

シルバー人材センターは半プロであります。独居の方の支援をしていくなかで困った内容はございましたか。

委員

今まで高齢者の方に継続して支援をしていたところ、同居していない息子さんから、値段が高い、頼んでいないなど、他で頼めばこんなにかからない、というような苦情はありました。

高齢者の方から依頼があったので伺っていますよと伝えますが、そのような問題点もあります。私どももプロではないので、剪定ではなく枝払いとして伝えていますが、期待されてしまっています。

メンバーは順次増えています。講習会も実施していますので、高齢の方で受けたいと思われている方はご案内ください。講師の派遣もしますので、お声がけください。

会長

今年度から始まったコーディネーターの仕事ですが、これからも皆さんの協力をいただきながら、情報収集など行いますのでよろしくお願いします。続いて、第2層協議体の提案についてお願いします。

委員

皆様のお手元の資料にある第2層協議体の提案について説明させていただきます。

多治見市の高齢者保健福祉計画の中に第1層、第2層協議体を設置することが盛り込まれています。生活支援体制整備推進会議を第1層協議体として、多治見市全体の課題を話し合う場として位置付けてあります。第2層協議体では地域の課題を話し合う場づくりとなっております。

多治見市では、地域福祉協議会で地域の課題を出し、関係機関の方も関わって、話し合い、活動をしています。そこに、包括支援センターを加えて活動して、第2層協議体という位置づけを提案したいと思います。

活動は今まで通りの地域福祉協議会の活動をしていただきながら、さらに地域社会資源の情報交換、現状把握していただくことをきっかけにしていきたいと思います。

地域福祉協議会のないところも、今後の立ち上げに加わっていただき、包括支援センターも動けるようにして、地域づくりをしたいと思っております。

既存の会議に、プラスして必要なサービスや自分たちでできることを話し合う場としていただきたいと思います。

委員

現に7つの地域はそうになっていますよね

会長

行っていただいていますので、改めてこの場で承知していただければと思います。

委員

今と一緒であるならいいのではないのでしょうか。

会長

包括支援センターからもこの提案について、ご意見ございますか。

委員

今年度から、代表者会議に参加させていただいております。ふれあいわきのしまの情報をいただきながら、また、地域に特化した情報を包括支援センターから情報提供させていただければと思っております。

委員	養正地域福祉協議会に今年度から運営会議に参加させていただいて、講座を開き、講師として参加させていただきました。これからも関わらせていただけたらと思います。
委員	ふれあいねもとの定例会に参加させていただいております。生活支援サービスの検討にも参加させていただいております。今後もセンターとしても関わらせていただきたいと思います。
委員	市之倉社協で行われている、運営会議等に参加させていただいています。生活支援サービスを始めるにあたって、地区の困りごと、ニーズに対して、たくさんの意見がでており、地域情報もあり、今後も会議に参加させていただき、関わらせていただきたいと思います。生活支援マップの精度を上げて配布できればと思います。
委員	共栄社協と運営推進会議に参加させていただき、買物場所が遠いので、タクシーのサービスをします。総合事業のサービス B も検討しています。これからはセンターが加わって、サービスの案内もできればと思っております。運営推進会議に参加させていただきまして、第 2 層協議体を準備して、協力していきたいと思っております。
委員	ふれあい北栄とは、高齢者支援センター、多容荘のつながりがありまして、濃い関わりをさせていただいておりますけれども、今までは推進会議には参加させていただいていなかったもので、会議に参加させていただくことによって地域のことを情報共有していかなければいけないなと感じました。
会長	今後はその会議の中で、問題提起などして、課題を見つけ出し、解決できる様になればと思います。地域社協が無い地域に、コーディネーターやセンターとも協力しながら設置できるように進めてまいります。 来年度の予定について事務局からお願いします。
委員	来年度の予定ですが、11 月 16 日に（仮）生活支援フォーラムを行いたいと思います。参加のご協力をいただきたいと思います。詳細が決まりましたら、再度報告させていただきます。 生活支援体制整備推進会議を 6 月と 2 月に予定しておりますのでよろしくお願いいたします。
会長	これで第 2 回生活支援体制整備推進会議を終了させていただきます。